

岡大医歯薬総第134号
令和5年1月26日

各大学医学部長 殿
各医科大学長 殿
各医学研究機関の長 殿

岡山大学学術研究院医歯薬学域
教員業績審査委員会

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯薬学専攻医学系講座
脳神経外科学分野担当教授候補者の公募について（依頼）

この度、岡山大学学術研究院医歯薬学域では、脳神経外科学分野 伊達 勲教授の退職に伴い、担当教授の公募を下記のとおり行うこととなりました。

本学は研究大学を目指しており、今回募集する教授には、脳神経外科学の分野で先端的かつ国際的に卓越した学内外での研究・臨床を推進でき、大学院での精力的な研究指導を行える方を求めています。当該領域での大学院生の指導のほか、学部教育として脳神経外科学の講義・実習、並びに大学病院での診療を担当していただきます。

つきましては、貴学・貴学部・貴研究機関及び関係機関で適任者がいらっしゃいましたら、令和5年3月8日（水）17時（必着）までに別紙に示す必要書類を添えて御推薦くださいますようお願いいたします。

記

1. 求める人物像

診療とアカデミアとしての責務を果たし、革新的医療技術創出拠点に相応しい研究成果を発信することを求める。脳神経外科のサブスペシャリティ6分野（腫瘍、血管障害、脊髄、機能、外傷、小児）を理解し基本的な指導ができることや、脳神経外科医としての優れた臨床的技量や実績と研究者としての高い研究能力・研究業績及び十分な外部資金獲得実績を有することが必要であり、また産学連携・医工連携を推し進めることも重要である。

教育面では医学生・大学院生・医師に対して十分な教育実績を有し、管理面では教室ならびに関連病院をまとめる運営能力が求められる。

2. 応募資格等

次の各号に掲げる基準を満たす者とする。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
- (2) 大学卒業後、関連分野の教育又は研究に従事した期間が10年以上ある者
- (3) 原著論文及び著書の総数10編以上を有する者
- (4) 欧文の主著（責任著者を含む。）の論文3編以上を有する者

3. 応募書類等 別紙のとおり

4. 採用予定日 令和5年10月1日（予定）

5. その他

- (1) 選考の過程において、面接を行う場合がありますので、予め御承知おきます。
- (2) 申請関連書類は、本学大学院医歯薬学総合研究科のホームページの他、UMIN と JREC-IN のホームページにも公開しています。
- (3) 本選考による採用者は、学術研究院医歯薬学域に所属し、テニユア・トラック制等による任期の定めはありません。また、国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則により、年俸制が適用されます。

【本学年俸制制度に係る規則等の掲載場所】

岡山大学公式HP－社会人・地域の方－教職員募集情報－教育職員－教育職員募集情報
<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/society/boshyu-kyoiku.html>

- (4) 大学院医歯薬学総合研究科は令和5年4月に改組することが決定しており、現在の「生体制御科学専攻 脳神経制御学講座 脳神経外科学分野」が「医歯薬学専攻 医学系講座 脳神経外科学分野」となります。
- (5) 外国語により講義を行うことができること期待します。
- (6) 岡山大学では、男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

以 上

教授候補者応募に必要な書類

1 提出書類

- (1) 推薦書（様式任意）
 - (2) 履歴書 1部
 - * 別添の【記入例1】を参考にして、印字で作成してください。
 - (3) 臨床・診療概要を記載した書類、手術症例報告書等 各1部
 - ① 臨床・診療に関して3,000字程度の概要（得意な領域、斯界にインパクトを与えたと思われる臨床業績、診療における抱負、講座及び関連医療施設の運営についての考え方など）について記入ください。 ※ 概要の最後には総字数を記入してください。
 - ② 平成30年から令和4年までの5年間の手術件数について【別紙資料（手術症例報告書）】を作成し、その間の代表的な手術10例の手術所見（手術記録の写し）を添付して提出してください。なお、選考の過程において、手術動画（申請時から1年以内に執刀した代表する1症例の無編集動画）及びその他資料を求める場合があります。
 - (4) 臨床試験の実施実績一覧 1部
 - * 携わった企業治験、医師主導治験、自主臨床研究等について、別添の【記入例2】を参考に作成してください。
 - (5) 教育及びその他活動実績一覧 1部
 - * 該当する項目のある場合は、別添の【記入例3】を参考に記入してください。
 - (6) 教育概要を記載した書類 1部
 - * 教育に関して2,000字程度の概要（実績並びに人材育成に関する抱負などについて具体的に述べたもの）を提出してください。 ※ 概要の最後には総字数を記入してください。
 - (7) 研究業績書 1部
 - * 別添の【記入例4】を参考にして、印字で作成してください。ただし、投稿中の論文で掲載証明のないものは除いてください。
 - * 論文の「著者名」に記載のある研究グループに研究協力者として参加した論文（「著者名」に応募者本人の氏名の記載がないもの。）については除いてください。
 - (8) 主要論文（原著及び総説）20編の別刷各1部とそのリスト1部
 - ① 20編の別刷り：1ページ目の右上上部に「研究業績書」に記入した区分及び番号（一連番号）を「原著論文-5」のように付記してください。
 - ② 主要論文20編リスト：該当論文について、「研究業績書」に記入した内容の他、各論文の被引用数（原則、Web of Scienceを使用するものとし、アクセスできない場合は、使用した他のデータベース名を明記してください。）及びそれぞれどのように関与したかを記載してください。
 - (9) 研究概要を記載した書類 1部
 - * 研究に関して2,000字程度の概要（実績の概要と今後の抱負などについて具体的に述べたもの）を提出してください。 ※ 概要の最後には総字数を記入してください。
 - (10) 科学研究費補助金・助成金等の交付状況 1部
 - * 所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費（奨学寄付金は除く。）を含みます。別添の【記入例5】を参考に記入してください。
 - (11) 特許の申請・取得状況 1部
 - * 該当する項目のある場合は、別添の【記入例6】を参考に記入してください。
 - (12) 学位論文の課題名、授与年月日及び授与大学名を記載した書類 1部
 - (13) 大学院における指導状況 1部
 - * 研究指導教員又は研究指導補助教員として大学院生を指導又は指導補助を行ったことがある場合は、別添の【記入例7】を参考に記入してください。
- 注) 上記提出書類（(1), (3)②手術所見, (8)①主要論文20編の別刷りを除く。）は、A4判用紙・縦に横書きで作成してください。

2 書類提出・問合せ先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等総務課総括主査気付

岡山大学学術研究院医歯薬学域 教員業績審査委員会 宛

注) 提出は書留にて郵送し、表書には「脳神経外科学分野教授応募書類在中」と朱書きで併記ください。

また、応募者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス等をお知らせください。

【問合せ先】 電話：086 (235) 7003 E-mail：ishiyaku-senkou@adm.okayama-u.ac.jp

3 その他

提出書類のうち、(2)履歴書、(3)②手術症例報告書、(7)研究業績書、(10)科学研究費補助金・助成金等の交付状況は、原稿ファイル（Word・Excel：写真・署名不要）を電子媒体（CD-R, USB メモリ等）に保存のうえ、併せて提出してください。

応募書類は、採用審査及び採用手続きの目的にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。また、選考終了後は、採用手続きに必要なものを除き、速やかに返却します。

(記入例1)

履 歴 書

氏名 (ふりがな) : おか やま はな こ
氏名 (英字表記) : Hanako Okayama
性 別 : 女
国 籍 : ○○国
生年月日 (年齢) : 昭和○○年○○月○○日 (○○歳)
現 住 所 : ○○県○○市○○町○-○-○
勤 務 先 : 〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○-○-○
○○大学○○学部○○分野 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○
(メールアドレス) ○○@○○

カラー写真

縦4cm×横3cm
(本人胸上半身)

注) 通常お使いの表記をお願いします。

学 歴

平成 4年 3月 ○○高等学校卒業
平成 4年 4月 ○○大学○学部入学
平成10年 3月 ○○大学○学部卒業
平成10年 4月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 入学
平成14年 3月 ○○大学大学院○学研究科 (○○学専攻) 修了

注) 高等学校卒業から歴年順に
記入してください。

資 格・免 許

平成10年 4月10日 医師免許取得 (第○○○○○○○号)
平成14年 3月24日 博士 (○学) (○○大学 第○○○○○号)
平成16年 9月30日 ○○学会認定 (専門医) (第○○○号)

職 歴

平成14年 4月 ○○大学医学部研究生 (○○講座・分野) 研
平成15年 4月 ○○大学医学部助手 (○○講座・分野) 教・研
平成23年 4月 ○○大学医学部講師 (○○講座・分野) 教・研
平成27年 3月 // 退職
平成27年 4月 ○○大学医学部准教授 (○○講座・分野) 教・研 現在に至る。

注) 1. 職歴に空白期間がある場合は必ず明記し、その説明を付記してください。
2. 必要教育歴又は研究歴は10年ですので、教育歴の場合は「教」、研究歴の場合は「研」と付記してください。

海 外 渡 航 歴

平12.9. 1~平14.8.21 ○○国○○大学○○研究室 (客員研究員) ~研修渡航
平16.5.15~平17.3.14 文部科学省在外研究員として○○国○○大学○○研究室
(客員助教授) ~出張

注) 2か月以上のものとし、必ず、受入れ先の国名、機関名、身分 (職名) を明記してください。

学会その他における活動等

○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会, ○○学会

平16.4~平20.3 ○○学会評議員

平16.4~現在 ○○学会評議員

平16.4~現在 ○○学会理事

平19.4~平24.3 ○○省○○審議会委員

平22.4~平27.3 ○○県○○審議会委員

賞 罰 : 平成14年4月 ○○賞受賞
罰なし

上記のとおり相違ありません。

注) 所属する学会名を記入し、役員については、その期間を付記してください。

注) 「賞」「罰 (刑事罰・懲戒処分)」とも
有無を明記ください。ある場合は具体的
内容を、無い場合は「罰なし」等と記載し
てください。

今回提出する履歴書の記載内容について相違ないことを申し立てます。なお、万一、経歴詐称があった場合は懲戒解雇になることがあるほか、採用後記載内容に誤りがあることが判明した場合は採用日に遡及して給与を返納することがあることについて異存ありません。

令和 年 月 日

氏名 (自筆)

(記入例2)

臨床試験の実施実績一覧

氏名(自筆)

- 主な臨床試験を、開始年度の順に記載すること。そのうち責任者 (PI) として携わっている場合、赤*を付すこと。
- 臨床試験の種類 (企業治験, 医師主導治験, 自主臨床研究, 等), 試験の正式名称, 実施期間, 参加施設数, 全症例数を記入すること。 **※ 記入例は削除して作成してください。**

<例>

1. 自主臨床研究, ○○に対する○○の安全性の検討, H19~H24年, 1施設, 20例
- *2. 医師主導治験, ○○に対する○○のランダム化第○相試験, H21~R1年, 10施設, 80例

注) 不足の場合はページを追加してください。

(記入例3)

教育及びその他活動実績一覧

1. 教育活動実績の一覧

項 目	期 間 等	備 考
1) 授業担当等		
① ○○大学○○学部 「○○○○学」(講義○時間, 実習○時間)	○○年○○月～現在	
② ○○大学大学院医学研究科 「○○学演習」 ○単位 「○○○○学」 ○単位	○○年○○月～現在 ○○年○○月～現在	
2) 他大学・他学部等の非常勤講師		
①○○大学 ○○学部 「○○○○学」年間○時間の集中講義	○○年○○月～現在	
3) 他大学の特別講義		
①○○大学○○学部○○講座 特別講義「○○について」	○○年○○月	
4) 委員等		
○○大学奨学生等選考委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部カリキュラム委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部アカデミックアドバイザー等	○○年○○月～○○年○○月	
5) 初期研修・後期研修 研修指導講習会受講の有無	○○年	
6) 国際交流/学生・研修医支援		
○○国留学生○○研修受入れ(○人)	○○年○○月～○○年○○月	
研修医指導責任者	○○年○○月～○○年○○月	
7) 学生の課外活動指導		
○○大学学友会 ○○部顧問	○○年○○月～現在	

注1) 教育実績には、これまで担当した講義・実習・演習・セミナー等のほか、カリキュラム策定委員・入試対策委員等の実績を、記入例に基づき記入して下さい。

注2) 項目ごとの記載数が多い場合は、内容が分かる簡単な説明を加えて、項目ごとに○○外○件というようにまとめて記載して下さい。

注3) 備考欄には大学及び大学院等での講義・実習等において、学生による教員個人に対する評価の概略等関連事項があれば記入して下さい。

2. その他活動実績 (付記すべきものがあれば記載してください。)

(記入例4)

研究業績書

令和 年 月 日

氏名 (自筆)

<学術論文> ※注) 及び記載例は削除して作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. h-index を欧文論文の先頭に朱書きしてください。
※ h-index は、原則、Web of Science を使用するものとし、アクセスできない場合は使用した他のデータベース名を明記すること。
2. 原著論文、総説、症例報告及びその他に区分の上、欧文、和文に分けて、それぞれ**発表年順(最近のものから)**に一連番号を付し、次のとおり記入すること。
・番号(一連番号)・著者名(印刷順に全員連記し、本人のところにアンダーラインをひく。)・
題目・発表誌・発行年(西歴); 巻: 初頁-終頁
3. 欧文論文掲載誌に Impact Factor (IF, Clarivate Analytics 社, 2021年版) が付されている場合には併せて記入すること。(付されていない場合には、「-」と記入)
4. **corresponding author** である場合には、一連番号の右側に**赤***を付すこと。
5. **国際共著論文**(異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文) の場合には、一連番号に**アンダーライン**を引くこと。
6. 主要論文 20編については、一連番号に**赤○印**を付すこと。

(欧文記載例)

- 1 *****Shikata E, Tushima K, Yamamoto M, Suzuki A, Okayama H. Evidence for the multistep nature of in vitro human epithelial cell carcinogenesis. Cancer Res. 2017; 50:5653-5657. IF: 9.122
- 2 Okayama H, Fujita J, Aaronson SA. Neoplastic conversion of human epidermal keratinocytes by adenovirus 12-SV40 virus and chemical carcinogens. Science. 2016; 232:385-388. IF: -

(和文記載例)

- 1 ○○○○, 岡山花子, ○○○○. ○○に関する研究. ○○学会雑誌, 1998; 3:189-211.

h-index: ● (Web of Science)

【原著論文】 (欧文)

【原著論文】 (和文)

【総 説】 (欧文)

【総 説】 (和文)

【症例報告】 (欧文)

【症例報告】 (和文)

<著 書> ※注) 及び記載例は削除して作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. 欧文, 和文に分けて, それぞれ**発表年順 (最近のものから)**に一連番号を付し, 次のとおり記入すること。

・番号 (一連番号), 著者名 (印刷順に全員連記し, 本人のところにアンダーラインをひく。), 題目 (共著又は分担の場合は, その区分を括弧書きで付記), 頁数, 発行所, 発行年 (西暦)

(欧文記載例)

- 1 Okayama H. Drugs and foods from little-known plants. Harvard Univ. Press, Cambridge, MA, 2011
- 2 Okayama H, Shikata E, Tushima K. Views of cancer researchers on environmental mutagens. In “Environmental Mutagens and Carcinogens”, ed. Sugimura T, Kondo S, Takebe H., pp. 3-20, University of Tokyo Press, Tokyo, 2008

(和文記載例)

- 1 岡山花子: ○○に関する研究, ○○書房, 東京, 2011
- 2 ○○○○, ○○○○, 岡山花子: ○○○○○○に関する研究 (分担), 「生体時計」, ○○○○, ○○○○編, PP. 15-25, ○○出版, 東京, 2009

【著 書】 (欧文)

【著 書】 (和文)

<その他> ※注) 及び記載例は削除して作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. 国際及び国内学会の特別講演及びシンポジウム等 (一般演題は除く。) について, それぞれ**発表年順 (最近のものから)**に一連番号を付し, 次のとおり記入すること。

・番号 (一連番号), 発表者 (本人のところにアンダーラインを引く。), 題目, 学会, 開催地, 発表年 (西暦)

(国際学会記載例)

- 1 Okayama H, Special lecture, Analysis of methylation in the c-myc gene, Symposium at the International Meeting of Cancer Prevention, Bangkok, Thai, 2012

(国内学会記載例)

- 1 岡山花子: 特別講演, 癌遺伝子, 第○回日本癌学会シンポジウム, 東京, ○○年

【国際学会】

【国内学会】

(記入例5)

科学研究費補助金・助成金等の交付状況

氏名(自筆)

補助金・助成金等(奨学寄付金は除く。)

- ・役割(代表・分担の別)の別に分類して、**開始年度の順(古いものから)**に記載すること。
 - ・記載内容:研究期間(年度)、資金制度・研究費名(配分機関等名)、研究課題名、(分担の場合は、**研究代表者氏名・所属、分担研究者(人数・役割分担)**)、研究費(期間の受領額:千円(分担の場合は、**研究費総額も記入**))
- ※記入例は削除して作成してください。

<代表>

1. H26～H28, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究A(一般), ○○に関する○○的研究, 48,000千円
2. H29～R1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C(一般), ○○に関する研究, 3,000千円

<分担>個人配分有り

1. H25～H27, ○○○医学振興助成金(○○財団), ○○に関する○○研究(代表:瀬戸次郎・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円, 分担額2,000千円

<分担>個人配分無し

1. H23～H25, ○○○医学振興助成金(○○財団), ○○に関する○○研究(代表:山陽花子・○○大学), 分担研究者(人数, 役割分担:○○に関する解析), 研究費総額5,000千円

注) 不足の場合はページを追加してください。

(記入例6)

特許の申請・取得状況

※ 該当がない場合には、「該当なし」と記入の上、提出してください。

(記入例) ※ 記入例は削除して作成してください。

【 特許取得 】

1. 特許番号 (登録日) : 特許第○○○○○○○○号 (20YY. MM. DD)
公開番号 (公開日) : 特開○○○○-○○○○○○ (20YY. MM. DD)
出願番号 (出願日) : 特願○○○○-○○○○○○ (20YY. MM. DD)
発明の名称 : △△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者 : □□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★ ★★
特許権者 : ◇◇◇◇
2. 米国特許番号 (米国登録日) : US 12, 345, 678 B2 (20YY. MM. DD)
米国公開番号 (米国公開日) : US 2018/012345 A1 (20YY. MM. DD)
米国移行出願番号 (米国移行出願日) : 18/123, 456 (20YY. MM. DD)
国際公開番号 (国際公開日) : WO2017/060234 (20YY. MM. DD)
国際出願番号 (国際出願日) : PCT/JP2016/078345 (20YY. MM. DD)
発明の名称 : △△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者 : □□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★ ★★
特許権者 : ◇◇◇◇

【 特許申請 】

1. 公開番号 (公開日) : 特開○○○○-○○○○○○ (20YY. MM. DD)
出願番号 (出願日) : 特願○○○○-○○○○○○ (20YY. MM. DD)
発明の名称 : △△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者 : □□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★ ★★
出願人 : ◇◇◇◇
2. 出願番号 (出願日) : 特願○○○○-○○○○○○ (20YY. MM. DD)
発明の名称 : △△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
発明者 : □□□□, ◆◆◆◆, ◎◎◎◎, ★★ ★★
出願人 : ◇◇◇◇

(記入例7)

大学院における学生指導状況

氏名 (自筆)

研究指導教員又は研究指導補助教員として指導又は指導補助を行った学生について記載

- ・ 博士課程、修士課程の別に分類して記載すること。
- ・ 記載内容：学位取得者氏名、指導大学・課程（修了年月）、研究題目、指導における役割等
 - ※ 学位論文が英語論文になっている場合には、当該論文の詳細（全著者名（掲載されている順番で）、論文名、雑誌名、発表年（西暦）、巻、初頁-終頁）を記入すること。
 - ※ テーシスの場合には、テーシスと明記すること。 ※ 記入例は削除して作成してください。

<例>

- 1 岡大太郎, ○○大学大学院○○科博士課程 (2020年3月修了), 「×××における△△に関する検討」, 研究指導教員として指導
Okadai T, Okayama M, Kurashiki D. Examination of △△ in ×××. Okayama Journal of Cell Biology. 2020; 18: 100-105.

<博士課程>

<修士課程>

注) 不足の場合はページを追加してください。

